

農村計画学・第10回

「途上国の農村開発・農村計画」

0. 「途上国」を取りあげる意味

(1) 西欧（ドイツ、フランス、イギリス、ほか）は先進国という暗黙の（勝手な）前提
民主主義、法制度の整備、法の遵守。←→ 国家・制度を信用しない。

途上国、とくに（旧）共産圏諸国は、計画主体は国家であり、国家優先、私権が制限される。
ただ、誰が計画するかということと、それが正しい・良い計画かということは一致しない。

(2) 農村計画の前に農村開発

日本の農村計画においても、その前に、農村開発、農村更正が力説され実施された。

農村計画学会（1982～）の初期には、途上国を対象とした研究は少なく、またあっても多くは
農村開発について、であった。

1. 自分が見てきた「途上国」の農村（の一部）

ベトナム：ダム移転民の生活再建、農産物認証に対する人々の信頼

近郊農村での高品質米の栽培と販売、農地の（強制的）交換

中国：黒竜江省におけるジャポニカ米生産（栽培技術＜経済効果）

乾燥地域の節水農業、農村住宅の高層化

新空港建設に伴う大規模な移転、小城镇計画の比較

2. 農村計画に関する国際会議、共同研究（とくに途上国と）

CIGR = Commission Internationale du Genie Rural

International Commission of Agricultural and Biosystems Engineering

RRPG = Rural Research and Planning Group, International Conference

6th in Bogol, 2015 7th in Johor Bahru, 2016, 8th in Yogyakarta, 2017.

日韓農村計画学会共同研究会 2002年くらいから

毎年交互に訪問、共同研究会、現地訪問（参考：日独農村計画学会 1983-2003 頃）

国内での研究グループ

3. ベトナム紅河デルタ農村の均質性の分化と有機農業プロジェクト

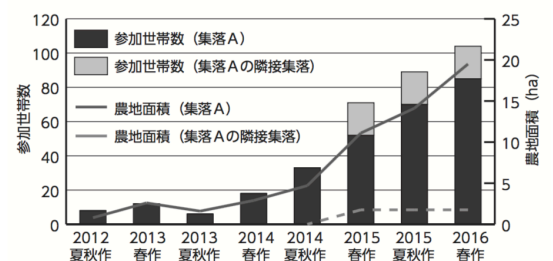
・古くから多くの研究があった。均質性の指摘が主だった（櫻井、グルー、ほか）。

・ドイモイ（刷新）政策以降、発展とともに分化が進んだ（井上）。

井上果子「地域農業生産・経営が農村社会連帯に与える影響- ベトナム紅河農村の事例研究-」

農村計画学会誌 31(2011)

・研究を現地に還元したい。→JICA 草の根事業（2012～2015、3年弱）での活動。その後の展開。



出所：Inoue et al., 2016
図3 A集落での展開

4. 中国農村の小城镇建設における土地問題

・城鎮建設≒都市化

・小城镇建設≒農村の都市化（近代化）

- ・計画倒れ、土地代の未払い、等々の弊害も多く見られる。
- ・農村部での現地調査
羅 小曼「中国農村の城鎮化過程における土地問題- H省 S 県を事例に-」農計誌 33(2013)

5. 中国農村部の住宅地計画における農民の意識

- ・CIGR2011(2011.9 Tokyo)に、4 か国からの農村計画研究者が集まる。
テーマは、農村アメニティ。
日本（中嶋、守田、九鬼、砂原、山路）、台湾、中国、ほか、CIGR への一般参加者。
中国：江蘇省での農村計画における住民参加 王 雷（天津大学@天津）守田が代理発表
台湾：北部での農村アメニティ整備 蔡龍銘（中国文化大学@台北）、他に甘、張
韓国：南部での農村アメニティ資源調査 Yung, Namu Su (公州大学校@忠清南道公州市)
- ・中国都市近郊での農村整備 2011.12 に現地を見る。
場所は天津市近くの華明鎮
計画面積 500ha 12 行政村から 5 万人を集合住宅に集積する。
農村住民の宅地跡地は農地に戻す。資金バランス、土地バランスをはかる。
移転拒否はいない（とのこと）、コミュニティスペースも用意。
- ・中国西部での都市開発と農村再開発 2009、2011、2012、2014 に現地を見る。
大規模な都市建設
周辺農村部でも、一部で高層化が進んでいる。
- ・王 雷：江蘇省での農村計画における住民参加

6. 韓国の農村総合開発事業の一例

- ・マウル（農村）総合開発事業

<学期全体のレビュー：キーワード>

- 10/04 農村とは、農村の変容、農村計画とは、農村計画の歴史、
農村土地利用計画、農振法、農振農用地
- 10/11 換地制度、非農用地換地、土地利用秩序形成、農業生産基盤整備、緑農住事業
- 10/18 生活環境整備、その指標、生活圈、
- 10/25 中山間地域の現状、新たな期待、集落機能、集落移転、グリーンツーリズム
- 11/01 農村環境の特質、有機性資源、水環境の変化、水路の近自然工法、親水
- 11/22 棚田学、棚田オーナー制度、事業主体、継続性、中山間地域等直接支払制度
- 11/29 農村景観の特徴、景観法、景観農振、文化的景観、重要文化的景観
美の里づくりコンクール、日本で最も美しい村連合
- 12/06 EUの農業政策、土地利用計画制度、LEADER事業、西欧の農村計画
- 12/13 農村計画演習（1）、中越地震からの復興
- 12/20 農村計画演習（2）、途上国の農村計画
- 01/10 東日本大震災、熊本地震からの復興（and地域おこし協力隊？）
- 01/17 先進事例or都市農業、学期末試験

<改訂レポート>

- ・1/10 に提出して下さい。（提出されなかった場合は、前回提出レポートを採点対象とします。）